

名古屋鉄道1700系のバリアフリー設備のご案内

(2014年3月15日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

1700系は西尾～津島系統の特急用として、1999年に1600系としてデビューしました。

当初は全車特別車の3両編成で「パノラマSuper」の愛称も付けられていましたが、2008年に中部国際空港アクセス用2200系と同一の一般車(2300系)を新製し、特別車2両+一般車4両の6両編成に組み替えられました。このとき、岐阜寄りの2号車と3号車を豊橋向きに方向転換して組み込んだため(1号車は廃車)全車特別車時代と現在とでは設備の配置場所が異なっています。

この組み替えにより、形式が1700系に変更されると共に「パノラマSuper」の愛称も外され、現在に至っています。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

2号車の1番のA席とD席が、車いすからの乗り移りに便利よう通路向きに回転し、かつ肘掛けを跳ね上げられる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

車いすスペース(次ページの配置図で「h」と表記)

6号車の岐阜寄りの腰掛の一部が跳ね上げ式になっていて、車いすスペースとすることができます。

多目的室

設置されていません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と表記)

2号車の豊橋寄りにベビーベッド(おむつ交換台)を併設した多機能トイレがあります。

洗面所

2号車の多機能トイレの向かいに車いす対応構造のものがありません。

公衆電話

当初は2号車の豊橋寄りに車いす対応構造でないものが設置されていました。撤去された時期は未確認です。

飲料自動販売機

2号車の豊橋寄りに車いす対応構造でないものが設置されています。

受動喫煙の発生状況

1999年5月10日の運転開始当初から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2007年10月10日(水曜日)

吉良吉田7時30分発佐屋ゆき285列車

(全車特別車3両編成×2本の6両編成、神宮前～津島間で5号車に乗車)

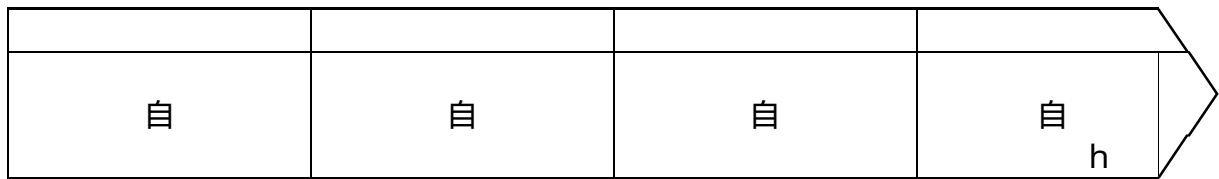
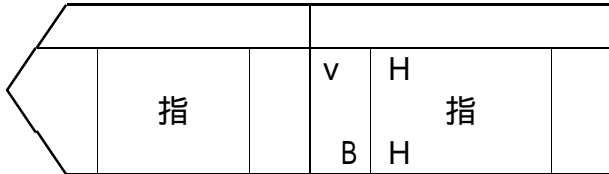
車両番号・5号車=サ1653(1999年・日本車輛製)

名古屋鉄道1700系 + 2300系の車内設備の配置図

- * 1・2号車(1700系)は特別車、3～6号車(2300系)は一般車です。
- * 岐阜寄りに一般車2両を増結した8両編成で運転される列車もあります。

豊橋・中部国際空港

新鵜沼・岐阜



凡例

- 指 = 特別車(指定席)
- H = 車いす対応座席
- B = 車いす対応トイレ(ベビーベッド付)
- 自 = 一般車(自由席)
- h = 車いすスペース
- v = 飲料自動販売機

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



名古屋鉄道1600系
(全車特別車の時代に撮影)



名古屋鉄道1700系の
車いす対応座席



名古屋鉄道1700系の
公衆電話撤去跡



名古屋鉄道1700系の
多機能トイレ



名古屋鉄道1700系の洗面所と
飲料自動販売機